

平成26年度SUAC研究成果発表会

# 多文化環境に生きる子どもの 教育達成支援策をめぐる研究

2014年12月4日(木) @静岡文化芸術大学

静岡文化芸術大学 文化政策学部

国際文化学科 池上重弘

<http://wwwt.suac.ac.jp/~ikegami/>

池上重弘研究室

検索

# 研究メンバーと研究の概要

所属	氏名	共同研究の分担内容
文化政策学部国際文化学科	池上 重弘	研究の統括、交流支援に関する研究、多文化子ども教育フォーラムのコーディネーター
国際文化学科	広瀬 英史	多文化子ども教育フォーラム
文化政策学科	林 佐和子	絵本プロジェクト
デザイン学部 生産造形学科	高山 靖子	絵本プロジェクト
メディア造形学科	古田 祐司	フォトストーリープロジェクト

## 研究の概要

本学に在籍する**ブラジル人学生たちの持つ潜在力**を存分に生かし、**多文化環境に生きる子どもたち**が日本社会で**教育達成**するために地元公立大学として**どのような支援が望ましいか**を実践的研究を通じて明らかにする。

# 研究の5つの柱

## 【絵本プロジェクト】

ブラジル人児童向け  
入学ガイダンス絵本

## 【学習支援】

日本語学習支援  
外国人中学生教科支援

多文化子ども  
教育フォーラム

## 【フォトストーリー】

大学進学を果たした  
ブラジル人学生の姿を  
次の世代に伝える

## 【多文化共生ワークショップ】

小学校での多文化共生、  
異文化理解のWS

# 絵本プロジェクトと多文化子ども教育フォーラム

【絵本プロジェクト】  
とくにブラジル人学生による  
家庭訪問ヒアリング

多文化子ども  
教育フォーラム  
(2012年度～)

2013. 6. 22  
＜第5回フォーラム＞  
教育支援策をめぐって  
当事者学生が物申す

2014. 1. 11  
＜第6回フォーラム＞  
ポルトガル語討論会Ⅳ  
日本の大学に進学した  
ブラジル人たちの経験から学ぼう

# 日本の学校で学ぶ上での課題

- 子どもたち

- 国境を越えた移動
- 異なる文化・生活環境
- 将来の不確実さ、不安

母語でのサポートや  
カウンセリング  
一人ひとりの状況把握  
居場所作り・心のケア

- 保護者

- 仕事に忙しく子どもと向き合う時間が不足
- 日本の教育制度についての理解不足
- 言葉の壁

翻訳資料、面談、家庭訪問  
きめ細かな情報提供

当事者目線の  
情報提供

モチベーション  
支援

教育  
達成

# 絵本プロジェクトと多文化子ども教育フォーラム

【絵本プロジェクト】  
とくにブラジル人学生による  
家庭訪問ヒアリング

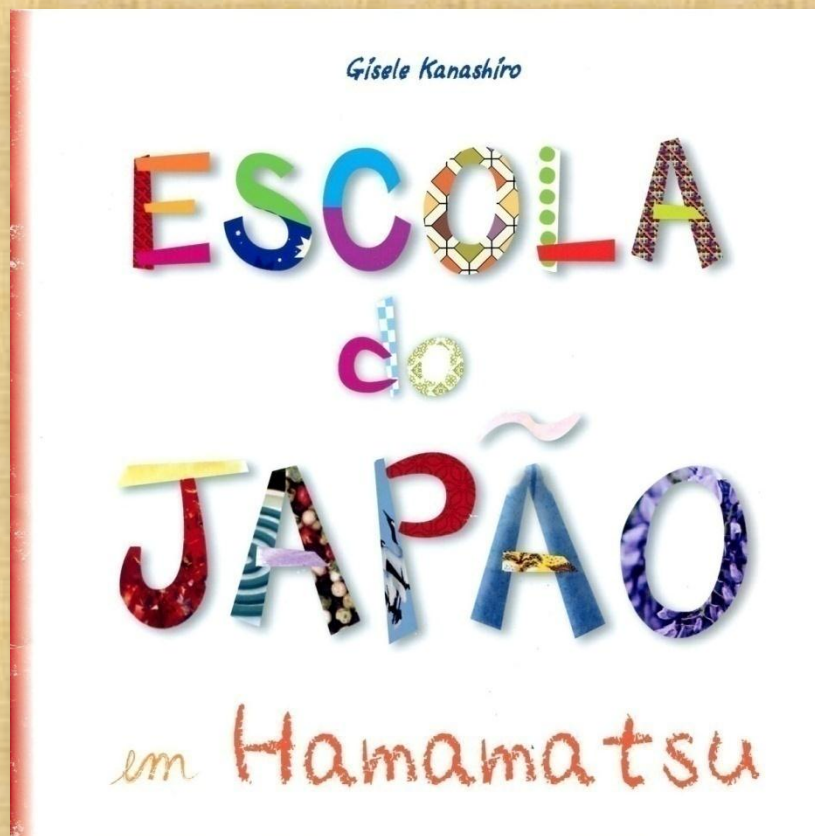
多文化子ども  
教育フォーラム  
(2012年度～)

2013. 6. 22  
＜第5回フォーラム＞  
教育支援策をめぐって  
当事者学生が物申す

2014. 1. 11  
＜第6回フォーラム＞  
ポルトガル語討論会Ⅳ  
日本の大学に進学した  
ブラジル人たちの経験から学ぼう

# ブラジル人児童向け入学ガイダンス絵本 (作：金城ジゼレ、生産造形学科2012年度卒業制作)

## 「浜松における日本の学校」表紙



## 目次

O dia-a-dia na escola Japonesa にほんのがっこうのせいかつ	
●	Materials e o dia-a-dia na escola がっこうでつかうものとがっこうのうちにち
●	Os principais materiais usados na escola がっこうでつかうきょうざいやもちもの
●	Como ir à escola とうこう
●	Chegando na escola がっこうについたら
●	A hora da merenda きゅうしよく
●	A hora do recreio e a limpeza ひるやすみとそうじ
●	Após a aula ほうかご
●	Quando for faltar おやすみするとき
●	Eventos na escola がっこうぎょうじ
●	Reuniões e visitas めんだんやほうもん
●	Final さいごに



- ブラジル人児童向け
- 入学ガイダンス絵本
- 日本語／ポルトガル語のバイリンガル絵本
- 自分の経験をもとに取材

## 給食に関連する言葉の説明



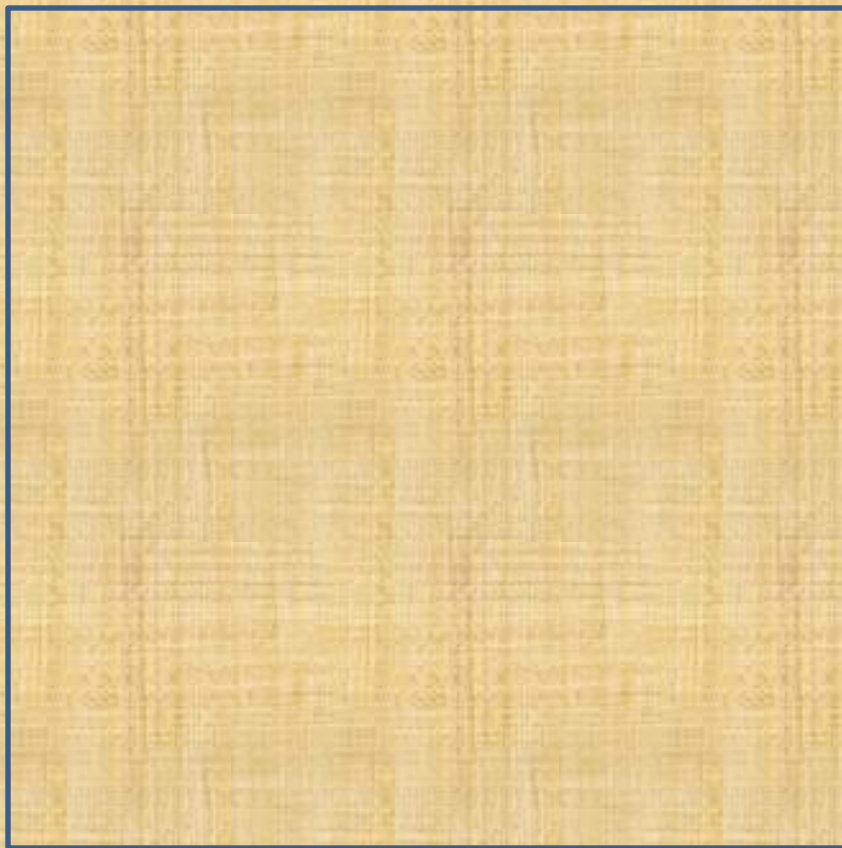
## 給食の準備



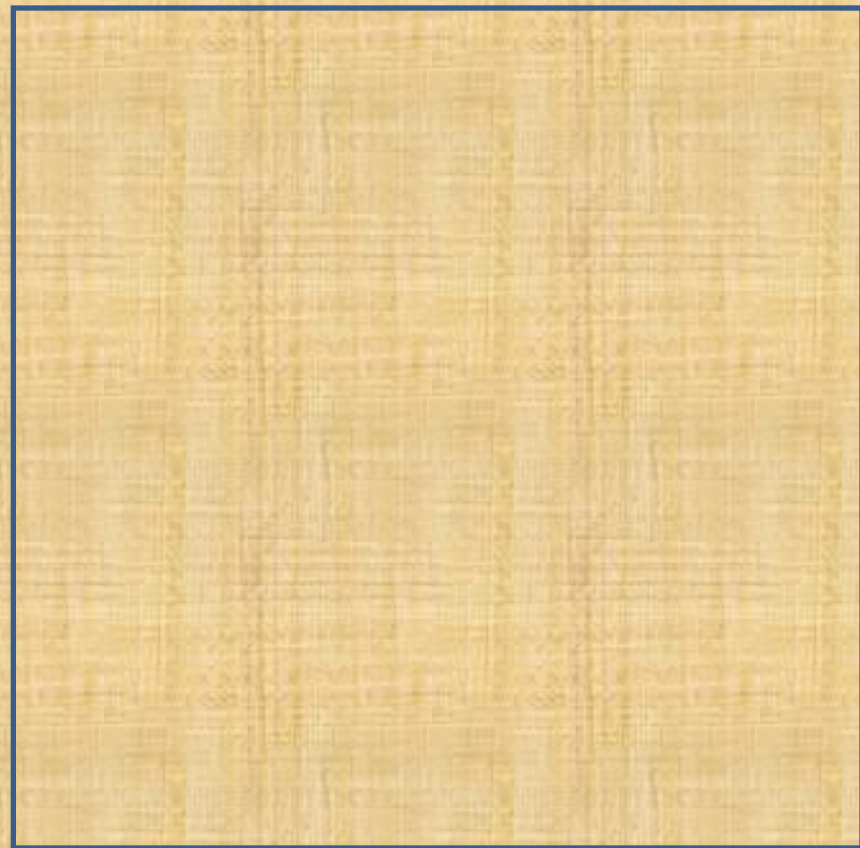
É a hora do almoço! Fazemos revezamento para servir a merenda.  
Os alunos responsáveis pela a merenda arrumam a mesa para servir.  
きゅうしょくのじかんだよ！グループごとにこうたいできゅうしょくとうばんをするよ。きゅうしょくとうばんがはいぜんたいをよういするよ。

日本の小学校が  
楽しみになるように！

- ・市内小学校全校に1部ずつ配布
- ・ブラジル人の多い19校では全家庭に配布
- ・家庭訪問ヒアリング受け入れの可否を調査



中日新聞 2013年8月24日付け



朝日新聞 2013年11月16日付け

# 絵本プロジェクトと多文化子ども教育フォーラム

【絵本プロジェクト】  
とくにブラジル人学生による  
家庭訪問ヒアリング

多文化子ども  
教育フォーラム  
(2012年度～)

2013. 6. 22  
＜第5回フォーラム＞  
教育支援策をめぐって  
当事者学生が物申す

2014. 1. 11  
＜第6回フォーラム＞  
ポルトガル語討論会Ⅳ  
日本の大学に進学した  
ブラジル人たちの経験から学ぼう

# 南米系移住第2世代の学生たち

入学年度	文化政策学部	デザイン学部
2006	1	
2007		
2008		2
2009		
2010		
2011	2	
2012	4	
2013	4	
2014	4	

- ◇ 高校・大学進学も確実に増加
- ◇ 地域活動の担い手としても台頭

**Cinthia Yukimi Miyagi**  
宮城ユキミ 日本xブラジル  
大学生 18歳  
7年前来日。日本の小学校6年に編入。ブラジルと日本の言葉と文化の違いに戸惑いを感じたが、同じ外国籍の友達や学校の先生、親の支えで高校、現在在園文化を学ぶため大学に在籍中。

**Nguyen Luong Xuan Anh Khoi**  
高山春樹 日本xベトナム  
不働業・編訳官 26歳  
日本生まれ、日本育ち。両親はベトナム人。小学校4年でアメリカに移住したが生活に慣れずアメリカを退学。日本の小学校・高・大に通う。高・大では異文化に興味を持ち国際文化学科に在籍。卒業後は地元の不働業・編訳の仕事として働く。在学中でも外国人と交際する機会があり、自分なりにお手伝いができればと思います。

**Eriniko Joy Abe**  
阿部恵美子 日本xフィリピン  
教育学部 教養部 22歳  
日本人の父、フィリピン人の母との間に生まれ、日本人として暮らす。1歳で単身を出立し、14歳から6年間アメリカ人の養育家庭で生活。現在は、フィリピンで出立した様々な人々の生活や文化について多文化、異文化、多言語について学んでいる。日本人、フィリピン人、日本人などの様々な文化や生活スタイルに、特別に興味を持っており、様々なメッセージを届けたいと思っています。

**Aline Yukary Suzuque**  
鈴木由香里 日本xブラジル  
大学生 19歳  
ブラジル生まれの日系ブラジル人。何處も両親を伴って、中学2年から日本の学校に編入。高校はインターナショナルスクールでの多文化体験。国際的に興味を持ち、現在地元の大学で国際文化学科を専攻。自身の経験を通して皆さんに少しでもお役に立てたらと思います。

**Mariana Yukie Ogawa**  
小川ゆきえ 日本xブラジル  
団体職員 23歳  
日系ブラジル人3世。ブラジル生まれ、日本育ち。小学校から大学まで日本の学校に通い、今年から浜松国際交流協会(HICE)に就職。同じようなルーツの人たちに多くのメッセージを伝えられたらと思います。

**Harumi Nako Gushiken**  
名幸春美 日本xペルー  
多文化共生コーディネーター 32歳  
祖父がペルーへ移住。ペルーで生まれ育ち。高校卒業後帰国と告白し、卒業に際し、リーマンショックの影響で仕事を失った後、外国人のための日本語研修所講師のコーディネーターとして働き、いろいろな活動に関与している日本人に出会う。それがきっかけで多文化共生に興味を持ち、現在浜松NPOネットワークセンターで多文化共生を担当。

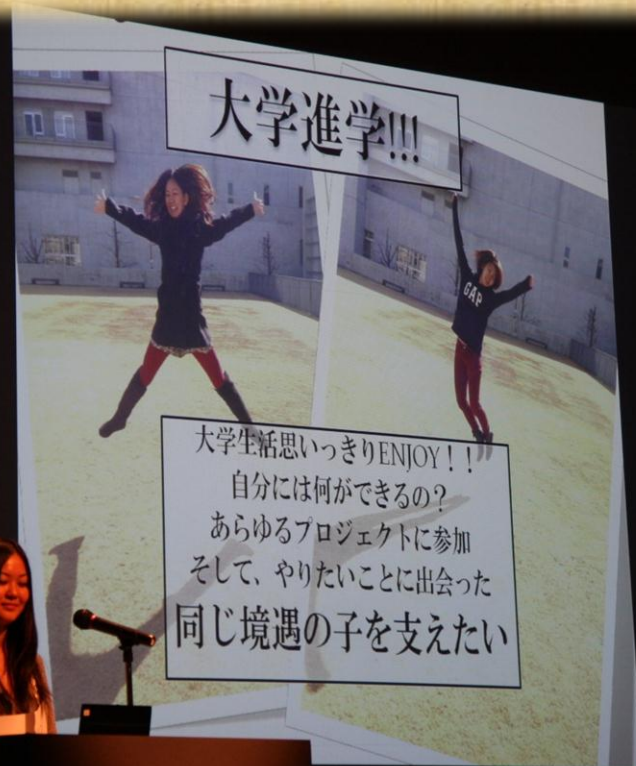
国際交流イベント、海外にルーツを持つ若者向けのイベントに 多数出演する  
話題のバンド **SUNCHILD** ゲスト出演 決定★  
「太陽の子ども」を豊饒する。太陽のような存在をコンセプトにグッドミュージックを届ける音楽仲間が集まり、バンドリーダーのThiago(vo/p)は、ブラジル(SP)生まれで、10歳のときに来日。そのルーツ同様、色彩豊かな発想で、SUNCHILDのコンセプトでもある「独創的で良質な音楽(good music)」を追求している。さまざまなジャンルの音楽をミックスし、独自の音楽スタイルを追求。2012年2月に東京で行われた初のワンマンライブは会場を満員にした。独自の音楽スタイルを追求。現在1stミニアルバム「RISING」を総売場発売中。2013年1月20日下北沢regでライブが決定!!!

**はままつグローバルフェア**  
国にルーツを持つ若者のトークイベントx音楽ライブ  
可能性へ向けての  
**RESTART** 再出発  
ブラジル、フィリピン、ペルー、ベトナムにルーツを持つ大学生・社会人たちが  
日本での学校生活・習慣・言語の違い  
自分が持つアイデンティティ  
そして、様々な困難を乗り越えてきた経験や思いを語ります。  
2月10日(日)  
無料 11:00-13:00  
クリエイト浜松 2階ホール中區早馬2-1  
\*お問い合わせ先\*  
(公財) 浜松国際交流協会(HICE)  
TEL: 053-458-2170

はままつグローバルフェア(2013年2月10日)

# はままつグローバルフェアより

2013年2月10日(日)@クリエート浜松



同じ境遇の子を  
支えたい！

HICE (浜松国際交流協会のサイトで動画閲覧可能  
[http://www.hi-hice.jp/j\\_report.php](http://www.hi-hice.jp/j_report.php)

# 第5回多文化子ども教育フォーラム

## 第5回 教育支援策をめぐって 当事者学生が物申す(6月22日)

外国籍学生たちが1ヶ月間、  
毎週ミーティングを開いて準備



静岡新聞

2013年6月16日付け

**SUAC**

# 多文化子ども 教育フォーラム

(Forum on Intercultural Children's Education)  
~教育支援策をめぐって当事者学生が物申す~  
**第5回**

○対象  
外国につながる子どもの教育や関連する課題に関心のある方

○プログラム

- ・はじめに/趣旨説明 (静岡文化芸術大学 池上重弘)
- ・「はままつの教育」が目指す外国人児童生徒教育について (浜松市教育委員会)
- ・ポルトガル語情報に見る教育をめぐる障見解 (静岡文化芸術大学准研究員 上田ナンシー直美)
- ・当事者学生によるプレゼン (静岡文化芸術大学の学生たち)
- ・ディスカッション グループ討論/全体討論

**2013.6.22 (土)**  
**13:30~16:30**

静岡文化芸術大学  
南棟2階 南282中講義室  
浜松市中区中央2-1-1

お問い合わせ先  
静岡文化芸術大学池上重弘研究室  
TEL/FAX 053-457-6156  
E-mail fice2012@gmail.com

多文化子ども教育フォーラム

参加無料  
申込不要

このフォーラムは2013年度 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター長特別研究  
「多文化環境に生きる子どもの教育達成支援策をめぐる研究」による事業の一環です。

移住第2世代とも言える子どもたちの中で大学進学を果たす若者たち。その数はまだまだ少数ですが、ここ数年で確実に増えています。

今年度の多文化子ども教育フォーラムは当事者の声にスポットを当てたいと思います。

今回は浜松市教育委員会の新しい取り組みについてお話をうかがった上で、現在大学で学ぶ当事者たちの「生の声」に耳を傾けてみましょう。

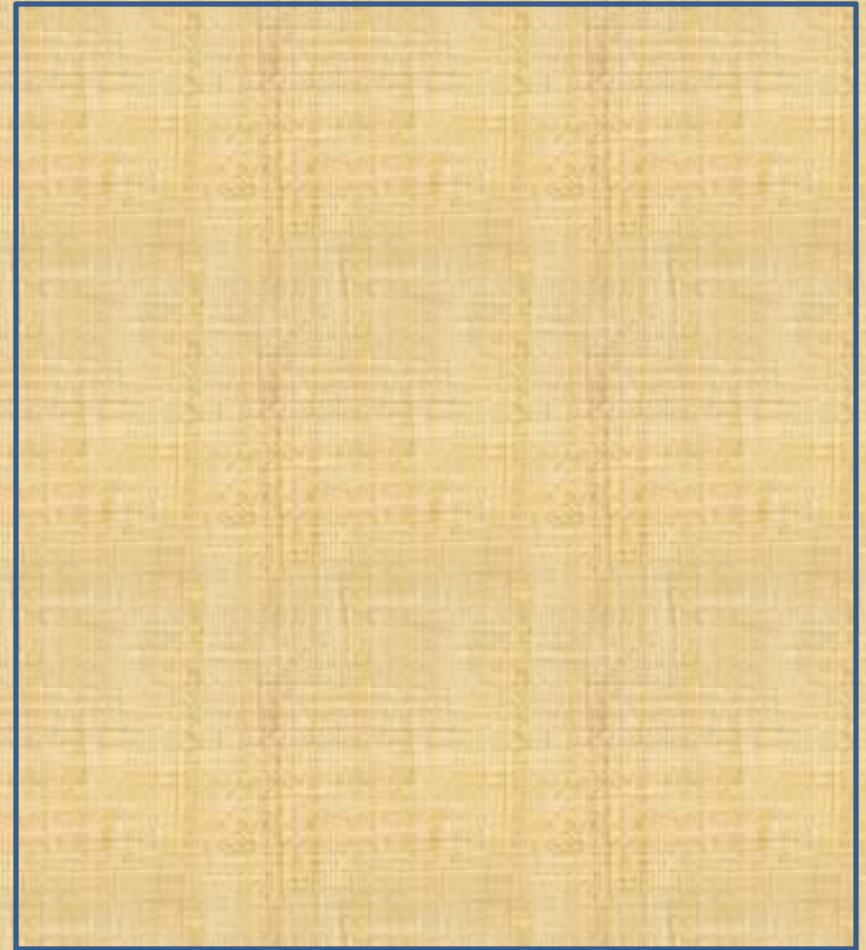
浜松市や静岡県内で学んだ当事者学生と直接意見交換するディスカッションも設けます。皆様のご参加をお待ちしております。

# 第5回フォーラム

## 前半：学生たちによるプレゼン



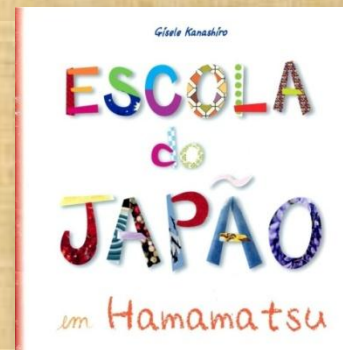
## 後半：参加者と意見交換



静岡新聞  
2013年6月25日付け

# 絵本プロジェクトとブラジル人学生による 家庭訪問ヒアリング

	絵本	家庭ヒアリング (ブラジル人学生)
6月	出版準備	
7月	出版	
8月		
9月	配布 活用	
10月	↓	
11月		家庭訪問 ヒアリング
12月		↓

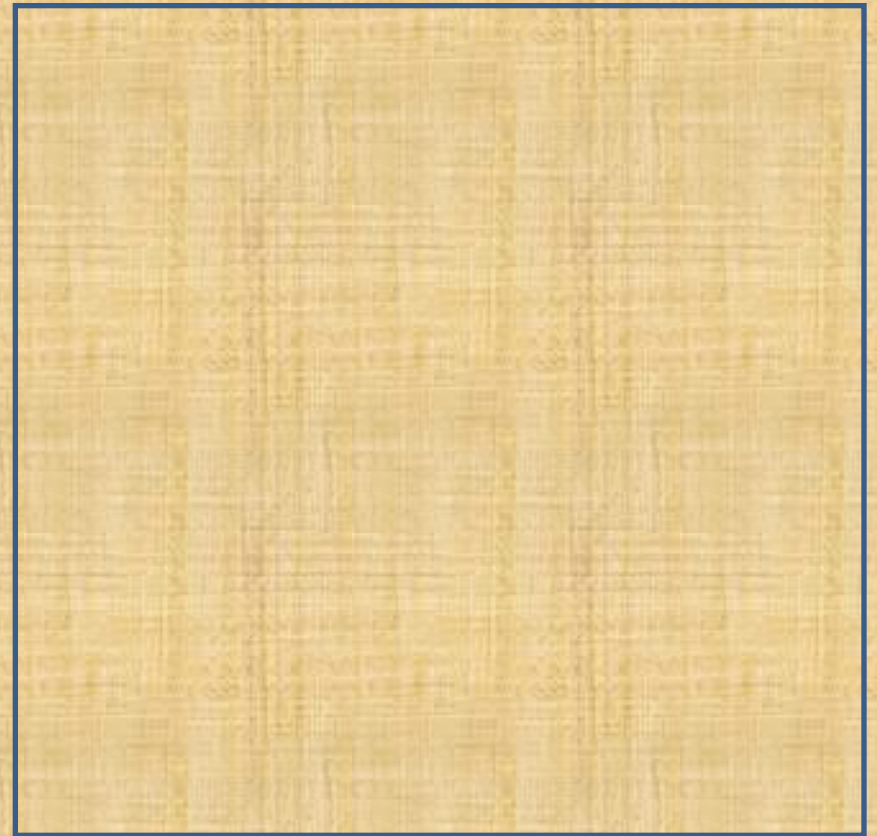


ブラジル人卒業生が作った  
バイリンガルUD絵本を、  
ブラジル人の在校生たちが、  
ブラジル人の小学生に  
**想いのボタン**として届ける！

UD絵本を持った  
ロールモデルの  
デリバリー



# 家庭訪問調査前の記者会見



静岡新聞 2013年11月16日付け

毎日新聞 2013年11月16日付け

# ブラジル人学生による 家庭訪問ヒアリング

## 研究上の目的

質問紙を用いたポルトガル語での  
ヒアリング調査を通して、子どもの  
進学をめぐる保護者の考えを探る

## 実践研究としての3つの目的

### 目的1: 保護者にとって

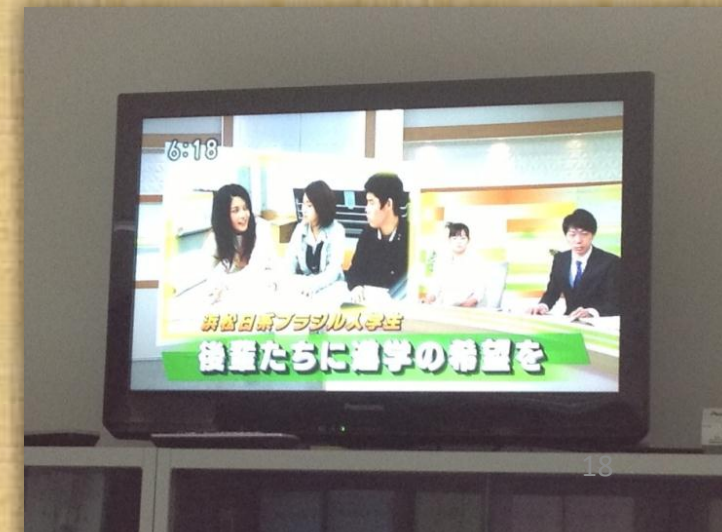
ブラジル人の子どもの日本での  
教育達成の具体例を知る

### 目的2: 小学生にとって

ロールモデルとの出会いが  
学びの動機を高める

### 目的3: 大学生にとって

自分の持つバックグラウンドの社会  
的意義を実感しエンパワーメント



NHK静岡放送局  
たっぷり静岡

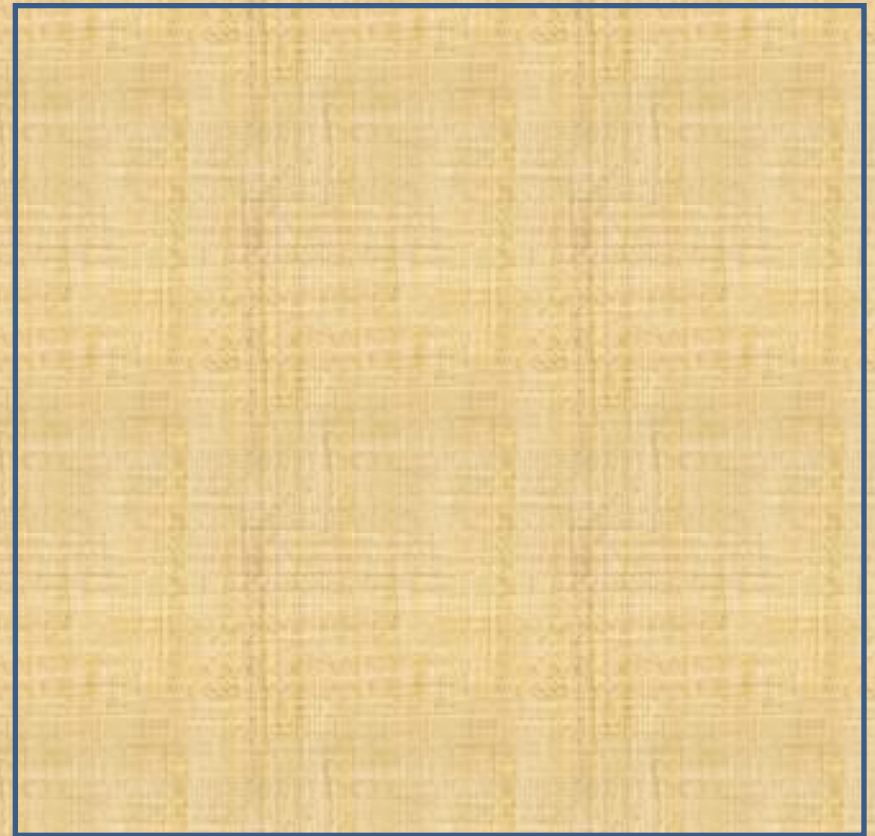
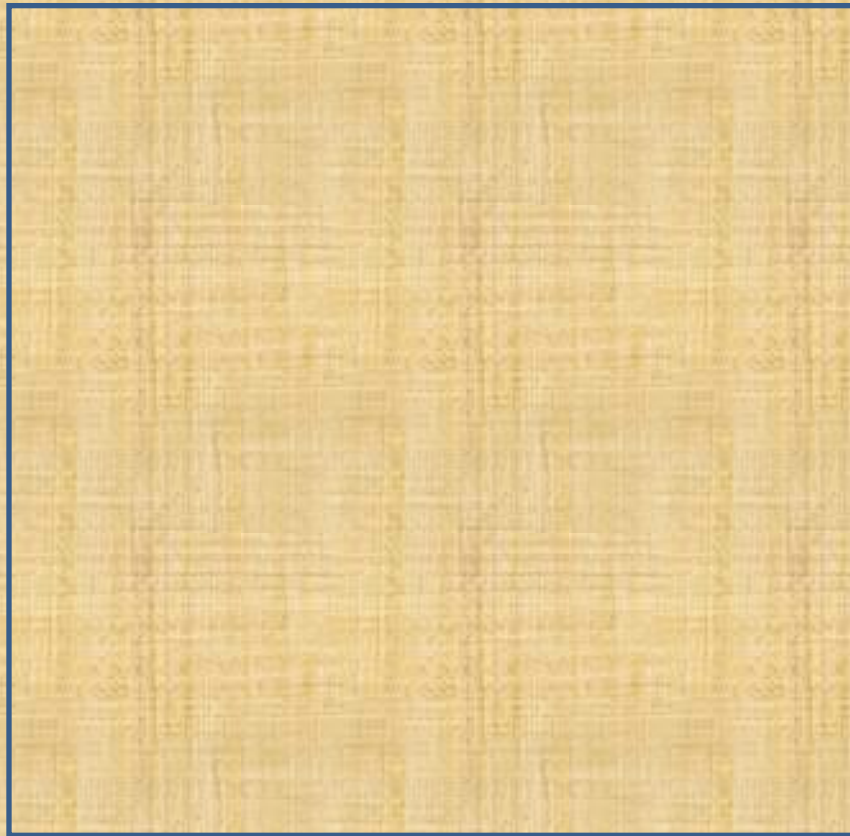
# ヒアリング調査の概要

- 配布実家庭420世帯のうち43世帯が訪問承諾
- 11月中旬～12月中旬に22世帯を訪問
- 調査項目
  - 出身地、来日歴、家族形態、仕事の状況、
  - 子どもとの関わり方、絵本の評価、
  - 日本の学校制度の不明点、
  - 子どもの教育達成への期待、
  - それを実現するための課題 等
- 保護者から学生への質問には可能な限り回答

# 主なポイント

- 宿題をあまり見てあげられない
  - 学力が心配
- PTA活動や親のすべきことが不明
- 経済面が心配
  - 通学支援や奨学金のことを初めて聞いた
- 進学に必要な情報が不足
- ポルトガル語の翻訳された進学情報も届かず
- ブラジル人児童からのいじめに関する相談も

# 第6回フォーラム (ポルトガル語での討論会Ⅳ)



- 外国人集住都市の中心部にある公立大学でこれだけのブラジル人学生が在籍するのは本学だけ
- さらにブラジル人学生たちによる組織的活動が継続しているのも本学だけ
- 「ハイエンド」学生たちの能力を生かした実践的研究の成果を社会に還元し、多文化共生の新しいフロンティアを開拓

ご清聴ありがとうございました。

多文化子ども教育フォーラム

<http://wwwt.suac.ac.jp/~ikegami/fice00.html>

ポルトガル語討論会Ⅳ報告書(日／ポ対訳)は  
本学学術リポジトリで公開中